

指導責任者	増 山 寿
医師数	常勤 13 名 非常勤 15 名 計 28 名
指導医・ 専門医数	日本産科婦人科学会 指導医 11 名・専門医 22 名 日本周産期・新生児医学会 周産期(母体・胎児)指導医 3 名・専門医 6 名 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍指導医 5 名・専門医 7 名 日本生殖医学会 生殖医療専門医 1 名 日本女性医学学会 専門医 5 名 臨床遺伝専門医制度 臨床遺伝専門医 4 名 日本超音波医学会 超音波指導医 3 名・専門医 3 名 日本産婦人科内視鏡学会 技術認定医 2 名 日本がん治療認定医機構 認定医 4 名
疾患の比率	婦人科腫瘍 45%，周産期 45%，生殖・内分泌・女性ヘルスケア 10%
病床	婦人科 31 床 産科 18 床 MFICU 6 床 NICU 12 床 GCU 12 床
患者数	婦人科手術 約 520 件/年 (悪性 80 件、良性 280 件、鏡視下手術 200) 分娩 約 340 例/年 帝王切開 140 件/年 母体搬送 55 件/年外来患者数 約 23,000 名/年
病院の特徴	「日本産科婦人科学会専門医制度研修施設」に加えて「周産期専門医制度基幹施設」および 「婦人科腫瘍研修認定施設」となっています。サブスペシャリティである周産期(母体・胎 児)専門医、婦人科腫瘍専門医、生殖医療専門医、女性医学学会専門医、臨床遺伝専門 医、超音波専門医などが取得可能です。また、産婦人科内視鏡学会認定医も取得可能 です。
研修の特徴	良性から悪性まであらゆる婦人科疾患、母体救命、胎児救命、NICUを含むあらゆる周産 期疾患、腹腔鏡から体外受精まであらゆる生殖内分泌疾患・女性ヘルスケアなど非常に豊富 な症例をそれぞれの専門家による手厚い指導にて研修することができます。さらに希望が あれば、各種サブスペシャリティや技術認定医の研修に移行できます。学会発表や論文 執筆の指導も充実しており、臨床・基礎研究や大学院進学も積極的に推進していま す。
学会認定施設	日本産科婦人科学会 専門医制度卒後研修指導 施設 日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医基 幹研修施設 日本婦人科腫瘍学会 専門医制度指定修練施設 日本生殖医学会 生殖医療専門医制度認定研修施設 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医制度認定研修施設 日本超音波医学会 研修施設
専攻医受け入 れ可能人数	1名/年